

全国水平社創立宣言 100 周年を契機とした人権文化の推進の取組（報告） ～「誰一人取り残さない多様性と包摂性のある社会」を目指して～

京都市人権文化推進計画令和3年度事業計画に基づき、大正11（1922）年3月3日に、日本初の人権宣言といわれる全国水平社創立宣言が発せられてから100周年となることを契機に、誰ひとり取り残さない共生社会の実現のための基本となる人権の大切さを考え、人権文化の推進につながる啓発活動を実施

＜主な取組＞

- 人権情報誌「きょう☆COLOR」において、水平社創立宣言100周年を記念した特集記事（別紙1参照）を掲載（令和3年12月）
- 人権パネル展「人の世に熱あれ、人間に光あれ。～全国水平社創立宣言 100 周年を迎えて～」を開催（別紙2参照）

期間 令和3年12月7日（火）～14日（火）
場所 ゼスト御池 寺町広場
- （公財）世界人権問題研究センターの季刊誌「GLOBE」『全国水平社創立100周年記念号』（別紙3参照）を発行（令和4年1月）
- 京都市人権資料展示施設における特別展等を開催（別紙4参照）

＜「ツラッティ千本※」・「柳原銀行記念資料館」共同特別展＞
テーマ：『人の世に熱あれ 人間に光あれ
～奈良で産声をあげ、京都で決起した全国水平社～』
期間：令和4年3月2日（水）～3月31日（木）

ツラッティ千本は、元楽只小学校跡地（北区）に、子育て支援や人権啓発、芸術活動などの6施設※を集約し、地域の新たな「子育て・人権・文化芸術の拠点」として開設された「ふれあい共生館」に、令和3年度に移転。

※ ツラッティ千本、北いきいき市民活動センター、京都市楽只児童館、京都市楽只保育所、HAPS スタジオ天才アート KYOTO アトリエ

＜記念シンポジウム＞

テーマ：京都で決起した全国水平社を南、桜田と寺田から読み解く
開催日：令和4年3月12日（土）午後1時30分～3時30分
場 所：キャンパスプラザ京都

もうすぐ 全国水平社創立宣言100周年

「人の世に熱あれ、人間に光あれ。」

全国水平社創立宣言というと、学校の教科書で見たことがあるという方もいらっしゃるでしょう。

この宣言は、100年前の大正11(1922)年3月3日、いわれなき差別からの解放を求めて立ち上がった約三千人の人々が、この京都・岡崎の地に集まり、開催された全国水平社創立大会において生まれたもので、日本初の人権宣言と言われています。



「全国水平社創立の地」 記念碑

この石碑は、全国水平社創立大会の開催地を示しており、水平社創立60周年を記念し、昭和57(1982)年に京都市が建立したものです。

所在地
左京区岡崎最勝寺町13
ロームシアター京都敷地内

水平社創立宣言の、人間の尊厳と全ての人の平等という理念は、被差別部落の人々だけでなく、世界中のマイノリティの人々の権利回復運動にも大きな影響を与えるとともに、今日の、「誰一人取り残さない」、多様性と包摂性のある社会を目指す、国連の持続可能な開発目標(SDGs)にも共通するものです。

本特集記事を機に、水平社創立宣言の理念について、改めて考えていただければ幸いです。



「全国水平社創立大会 綱領宣言」

崇仁自治連合会蔵
法政大学大原社会研究所蔵
18.3×39.0cm 1922年3月3日
全国水平社

チラシ
「全国水平社創立
大会参加へ!!」

崇仁自治連合会蔵
15.5×10.2cm 1922年2月
水平社同人

本チラシは全国水平社創立のために「水平社同人」の名前で呼び掛けられたもので、1922年2月下旬から大阪、奈良、京都市内において配布されました。



「全国水平社本部」記念碑

全国水平社の本部は初代委員長となった南梅吉の自宅に置かれました。

■所在地
北区紫野北花ノ坊町

人の世に熱あれ、人間に光あれ

全国水平社連盟本部 初代事務所の地

是より南三十米

京都市
(石碑本文)



京都市人権資料展示施設では
同和問題について深く学ぶことが
できます。

ツラッティ千本 (写真:左)

千本地域の歴史や住民参加のまちづくりなどを通じて、同和問題をはじめ人権について学べます。

■所在地
北区紫野西舟岡町2 ふれあい共生館内

柳原銀行記念資料館 (写真:下)

崇仁地区関係の歴史や文化、生活資料等を中心とした展示を行うとともに、同和問題をはじめとする様々な人権課題について学べます。

■所在地
下京区下之町6-3



「人の世に熱あれ、人間に光あれ」

～誰一人取り残さない「SDGs」の達成へ～

人類の歴史は、人権確立の歴史でもあり、また、そうであらねばなりません。

人権文化の伝統が息づくまち京都で生まれた全国水平社創立宣言は、人間の尊厳と平等を求め、全ての人々のあらゆる差別からの解放を理想としています。

この間、人権への関心と意識は高まり、たゆみない努力が続けられているものの、宣言が希求する「差別のない社会」の実現は、まだまだ道半ばです。

今、この創立宣言にこめられた先人たちの思いを改めて共有し、誰一人取り残さない「SDGs」の達成に向けて、多様性と包摂性のある共生社会を目指し、共に歩みを進めてまいりましょう。



京都市長

門川 大作





GLOBE

GLOBE No. 108 2022.1 目次

全国水平社創立宣言一〇〇周年記念号											
グラビア	「全国水平社創立を記念する碑」										
卷頭言	全国水平社創立宣言一〇〇周年に思う										
メッセージ	全国水平社創立一〇〇周年に寄せて										
メッセージ	「人の世に熱あれ、人間に光あれ」										
人権ガイド	「誰一人取り残さない「SDGs」の達成へ										
人権ガイド	「全国水平社創立の地」										
特別寄稿	「人権文化の息づくまち・京都」ならではの										
特別寄稿	「共生社会の実現を」										
連載	坂元	西脇									
連載	大谷	大谷	大谷	大谷	大谷	大谷	大谷	大谷	大谷	大谷	大谷
研究報告	山村	山村	山村	山村	山村	山村	山村	山村	山村	山村	山村
研究報告	坂元	坂元	坂元	坂元	坂元	坂元	坂元	坂元	坂元	坂元	坂元
研究報告	山田	山田	山田	山田	山田	山田	山田	山田	山田	山田	山田
研究報告	梅田	梅田	梅田	梅田	梅田	梅田	梅田	梅田	梅田	梅田	梅田
研究報告	田中	田中	田中	田中	田中	田中	田中	田中	田中	田中	田中
パンデミック下の学校教育	菅原	菅原	菅原	菅原	菅原	菅原	菅原	菅原	菅原	菅原	菅原
パンデミック下の学校教育	梅田	梅田	梅田	梅田	梅田	梅田	梅田	梅田	梅田	梅田	梅田
「新陰陽道叢書」刊行をめぐって	千尋	千尋	千尋	千尋	千尋	千尋	千尋	千尋	千尋	千尋	千尋
「新陰陽道叢書」刊行をめぐって	健太	健太	健太	健太	健太	健太	健太	健太	健太	健太	健太
「人権デューディリジェンス」の義務化	茂樹	茂樹	茂樹	茂樹	茂樹	茂樹	茂樹	茂樹	茂樹	茂樹	茂樹
「人権デューディリジェンス」の義務化	敏雄	敏雄	敏雄	敏雄	敏雄	敏雄	敏雄	敏雄	敏雄	敏雄	敏雄
実効性からの問題提起	実	実	実	実	実	実	実	実	実	実	実
実効性からの問題提起	太	太	太	太	太	太	太	太	太	太	太
コミニティアーカイブと歴史的創造力	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤
コミニティアーカイブと歴史的創造力	田辺	田辺	田辺	田辺	田辺	田辺	田辺	田辺	田辺	田辺	田辺
まちの「ダイバーシティ・センター」を目指す	尊史	尊史	尊史	尊史	尊史	尊史	尊史	尊史	尊史	尊史	尊史
まちの「ダイバーシティ・センター」を目指す	知久	知久	知久	知久	知久	知久	知久	知久	知久	知久	知久
「全国水平社創立一〇〇周年記念シンポジウム	絵美	絵美	絵美	絵美	絵美	絵美	絵美	絵美	絵美	絵美	絵美
「全国水平社創立一〇〇周年記念シンポジウム	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤
事業案内	（裏表紙）	（裏表紙）	（裏表紙）	（裏表紙）	（裏表紙）	（裏表紙）	（裏表紙）	（裏表紙）	（裏表紙）	（裏表紙）	（裏表紙）
「全国水平社創立天會へ！」（京都市崇仁自治連合会蔵）	28	26	24	22	20	18	16	14	12	10	8
「全国水平社創立天會へ！」（京都市崇仁自治連合会蔵）	6	5	4	2	4	2	4	2	4	2	4

(表紙裏)

GLOBE (グローブ) ラテン語の「球」の意からきた言葉で地球、天体のことです。

■表紙のテーマ「表現することで私になれる」、作品名「四獸 ネズミ変化」

■「天才アート」(特定非営利法人障害者芸術推進研究機構) 提供 根ヶ山恵司 1996年生まれ

全国水平社創立100周年記念
ツラッティ千本・柳原銀行記念資料館共同特別展

人の世に熱あれ 人間に光あれ

奈良で産声をあげ、京都で決起した全国水平社

2022年3月2日(水)~31日(木)

午前10時~午後4時30分 入場無料



展示替え休館日

ツラッティ千本：2月26日(土)~3月1日(火)、4月4日(月)~5日(火)

柳原銀行記念資料館：2月25日(金)~27日(日)、4月1日(金)~3日(日)



全国水平社創立発起人集合写真(1922年3月3日 水平社博物館蔵)

左から、平野小剣、米田富、南梅吉、駒井喜作、阪本清一郎、西光万吉、桜田規矩三

■記念シンポジウム

京都で決起した全国水平社を
南、桜田と寺田から読み解く

3月12日(土)

午後1時30分~3時30分(開場午後1時)

キャンパスプラザ京都 4階 第3講義室

会場定員：80名 会場先着順、入場無料

基調講演：井岡康時氏

(奈良大学文学部教授、世界人権問題研究センター研究員)

フリートーク

山内政夫氏 (柳原銀行記念資料館運営委員会事務局長／司会)

稻野明英氏 (柳原銀行記念資料館運営委員会)

西村優汰氏 (NPO法人くらしネット21)

※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、実施方法等を変更する場合があります。

柳原銀行記念資料館

The Bank of Yanagihara Memorial Museum

〒600-8206 京都市下京区下之町6-3

TEL/FAX: 075-371-0295

閉館日：月、火、祝・休日、年末年始(12/29~1/3)

市バス「塩小路高倉」バス停下車、南東へ徒歩200m

京阪「七条」下車、七条大橋を渡り、2つ目の信号を左300m

※駐車場はありません。

ホームページ：京都市情報館 (<https://www.city.kyoto.lg.jp>)

から「柳原銀行記念資料館」で検索



主催：京都市 NPO法人くらしネット21

柳原銀行記念資料館運営委員会

協力：公益財団法人世界人権問題研究センター

京都市立芸術大学芸術資源研究センター

ツラッティ千本

Tsuratti Sembon

〒603-8226 京都市北区紫野西舟岡町2

元京都市立業小学校複合施設内(ふれあい共生館)

TEL 075-441-1011

閉館日：日、火、祝・休日、年末年始(12/29~1/3)

市バス「千本北大路」バス停下車すぐ

*駐車場はありません

ホームページ：京都市情報館 (<https://www.city.kyoto.lg.jp>)

から「ツラッティ千本」で検索



京都市
CITY OF KYOTO

令和4年2月発行

京都市文化市民局共生社会推進室

京都市印物第034939号